

ランチトーク&ミーティング in 所沢キャンパス 「研究・学業と子育ての両立」を開催しました

男女共同参画推進室ワークライフバランス・サポートセンターでは、2011年度第6回交流事業として、11月24日（木）に所沢キャンパスでランチトーク&ミーティングを開催しました。

開催の目的は、①研究・学業と子育てというライフイベントとの両立について、ゲストの話をヒントにさせていただく、②参加者同士のゆるやかなつながりを形成するためのきっかけの場として利用させていただく、③サポートセンターへの要望事項を参加者から出していただくことです。

今回は、研究者同士で学生結婚し、子育てをしながら、研究と学業に従事する本学の助手をゲストにお招きし、研究者として、若くして子どもをもつことのメリット/デメリットについてお話しいただきました。女性研究者は、研究者として脂の乗る時期に出産を迎える晩産の傾向があるので、メリットとして、若くして産むと、その後の自分たちの時間が設計できる、子どもがいると時間の使い方が効率よくなり視野が広がる、子育て経験が直接研究に生きると挙げられました。さらに、出産をしてみると、学内に同じ立場の人が結構いて、研究者間のネットワークができたり、40代で出産をされている先生が多いので、子育てトークを通して、上の世代の先生方と話せて、研究にもつながってっていると体験が語られました。

また、デメリットとして、子どもを産む時期がテニユア教員の公募時期に重なると、次の職に応募しにくいのが研究者の難しいところだという話も出ました。

ゲストの話題喚起をもとに、修士学生・若手教員の参加者で、女性研究者が結婚・出産を考える難しさ、25歳～35歳あたりをどう乗り越えていくかが肝心で、どういう支援体制や環境があれば、女性研究者がライフイベントとの両立が考えられるか等について、サポーターとしてご参加いただいた、川名はつ子先生（人間科学学術院准教授）、岡浩一朗先生（スポーツ科学学術院准教授）も交えて、忌憚のない意見が飛び交いました。

参加した感想として、今後の人生設計をより具体的に考える契機となった、自分も子育てと仕事を両立させたいと考えているので、パートナーとのワークライフバランスとの兼ね合いなど、率直なところを聞いてよかった、女性が子育てをしながら研究者として大学で働くことについて理解が深まった、といった声が寄せられました。

サポートセンターでは、今後も各キャンパスで交流会を開催してまいります。

次回は2012年3月に、西早稲田キャンパスでの開催を予定しています。

みなさまの積極的な参加をお待ちしております。

